



将来に向けて！ 2年担任団からのメッセージ

昨年の今頃は、2年になったらどんなことに取り組んでいこうと考えていましたか？
月日の経つのは早いもので入学してから2年間が終わろうとしています。いろいろな事が
あった米工生活もあと1年となり、最終学年として次年度への新たな目標を立てる時期に
なりました。来年度に向けて各担任の先生から激励メッセージをいただきました。多くの
先生方が皆さんの健闘を期待しておられます。

4月から3年生として、就職や進学に向け計画的に後悔しないように過ごしましょう。



機械科 気が付けば高校生活も2年が過ぎ、来年度は締め括りの1年となります。そして、進路決定の大切な年となります。「これでいいや。」ではなく「これがいい。」という自分で決めた道を選んではしい。自分で決めた道であるなら、その道がきっと正解となるはず。高校生活ラスト1年、まだまだ成長の機会はたくさんあるはず。何事にも全力で取り組んでいきましょう。

機械科2年 担任 坂本 恭成

電気科 学年末考査の初日、珍しくE2の試験監督をしました。全員が集中して試験に取り組む姿を見て、皆さんの本領を見た気がしました。

あと1年で卒業です。卒業後、皆さんは「電気」という「ライフライン」を守る立場になります。現在、電気は灯いて当たり前、停電したら大騒ぎです。「当たり前を守る」ことは、口で言うほど簡単ではなく、地道な努力が必要なものと想像します。

皆さんがあと1年しっかりと学び、地域を支える「17人の電気マン」に変身することを楽しみにしています。

この1年間とても楽しかったです。ありがとう。

担任 野口 俊彦

建設科 2年生が終わり高校生活も終着駅へと近づきます。

人間は常に無数の分岐点に立たされながらもどれか一つを選択しながら進んでいく生き物です。「今日の朝ごはんを、ご飯にするか。パンにするか。」「今夜、YouTubeを見るか。映画を見るか。」小さな分岐点で選択をする時もあれば「マイホームを建てるか。アパートに住み続けるか。」のように大きな分岐点で選択をする時が来ます。その分岐点の一つへ皆さんは近づきつつあります。

次の分岐点は「進学するか。就職するか。」です。今を楽しむことも大切ですが、分岐点で焦らないために情報収集を行うことも必要です。後悔のない選択のために進路と向き合う年にしてください。

担任 檀田 航大

情報電子科 2年生が終わろうとしています。4月の自分を振り返ってください。その時の自分と比べて何か成長はありましたか？何か変化がありましたか？多くの人は自分自身が軸の中心にあるため客観的に自分を見つめることは難しいため気づいてないかと思います。けれど、何も変わらないまま本当に過ごしているのならもったいない時間を過ごしていることに気付いてください。

4月になれば3年生になるかと思います。他の誰かが道を作っていく訳ではなく自分自身で作って行かなくてはなりません。何もしなければ何も決まらないまま卒業を迎えてしまいます。けれど、きちんと向き合えばそれに見合った進路が開けていきます。後悔の無い卒業の日が迎えられるよう、3年では健闘してください。

担任 平尾 典久

環境エネルギー科 この一年間、みんなに伝えたかった事は、「100回やれば出来ないことはない」という事です。今更感のある言葉かもしれませんが、いざ実行しようとする、これが中々難しい。

テスト前に、今回は良い点を取ろうと勉強を始めます。すると、教科書を一瞥しても、全く分からない。「うー、明日やろう。」となります。これがテスト前日まで続きます。

では、どうするのか。兎に角、教科書を10回読むんです。「そんな無茶な」という声が聞こえて来そうですが、実は、教科書を1ページ読むのに、10分もかかる人はいません。10回も読むと、1ページ当たり5分以下で読めるようになります。最後には、1分以内で読める様になります。

イチローをはじめ多くの成功者は、「最初の1億を貯めるのはめちゃくちゃ苦労したが、1億を10億にするのはそれほど大変ではなかった」と言います。これも、100回繰り返すことと同じ原理です。騙されたと思ってやってみてください。

担任 田邊 誠司